

## NPO 法人さんぴいす 沿革

- ・ **2003年3月3日**

学校やチルドレンズミュージアムなど「学びの場」に携わる有志が中心となって、任意団体 NPO さんぴいす を設立。

- ・ **2004年9月27日**

情報技術者や臨床心理カウンセラーなど、新たなメンバーも加わり、兵庫県より認証を受け特定非営利活動法人さんぴいす となる。（会員数 11名）

- ・ **2005年4月～**

専従職員を2名置き、本格的な活動開始。

- ・ **2005年6月～**

芦屋市少年探偵団 発足

「芦屋川に魚を増やそう会」主催の芦屋川探検隊の活動に事務局として参加

- ・ **2005年11月27日**

阪神タイガースSDの星野仙一さんの実姉である幼児教育家の米谷美和子さんをお呼びして子育て支援フォーラムを開催

- ・ **2005年12月1日**

事務所を芦屋市大榎町7-2 芦屋ファイブ 301号室に移す。

- ・ **2005年12月20日**

子育て支援のためのインキュベーションセンター「ぷらっと」を開設

- ・ **2006年11月**

芦屋の子育て支援情報誌「ちょこっと」を創刊

隔月で3,000部を市内の行政機関、幼・保育所、ちょこっと応援団（協賛くださるお店）など70か所で無料配布。

- ・ **2007年2月11日**

兵庫県立人と自然の博物館主催の「共生のひろば」において、芦屋川探検隊の活動を発表。ポスター発表の部で「河合雅雄名誉館長賞」を受賞

- ・ **2007年3月**

第5回トム・ソーヤスクール企画コンテストにおいて、「一般の部 優秀賞」を受賞

兵庫県阪神南県民局の地域づくり活動応援事業において「GISを使った芦屋市とその近隣地域の自然観察活動の実施」事業が「県民局長グランプリ賞」を受賞

- ・ 2007年12月  
 母親たちのリ・チャレンジ支援「ペルル」の事業開始（現在、登録者は100名を超える）
- ・ 2008年1月  
 兵庫県社会福祉協議会より、「企業・NPO協働奨励事業の奨励賞」を受賞
- ・ 2008年～  
 エマジネティックス（EG）の導入  
 エマジネティックスとは、アメリカで開発された思考と行動のスタイルを科学的に分析し、対人関係や個人の資質を飛躍的に向上させることができプロファイリング（心理測定）を用いた研修プログラム
- ・ 2011年  
 「親子でお散歩マップ」を芦屋市こども課より委託を受け作成  
 乳幼児を育児中の親子が、手軽に楽しく外出（お散歩）をしたくなるように、市内の公園情報や子育て支援活動の情報を一冊の冊子にまとめた
- ・ 2012年  
 「赤ちゃんの駅事業」の企画、運営を芦屋市こども課より委託され、ペルル登録者と共に実施。  
 市内100カ所以上に赤ちゃんの駅を設置。
- ・ 2012年8月  
 CIEC（コンピューター教育学会）の2012PCカンファレンスにおいて、当法人理事長が最優秀論文賞を受賞  
 受賞論文：eラーニング教材における質疑応答のフィードバックと学習者の思考特性  
 篠田 有史(甲南大学情報教育研究センター)・吉田 賢史(早稲田大学高等学院)  
 松本 茂樹(甲南大学知能情報学部)・河口 紅(NPO 法人さんびいす)
- ・ 2013年3月  
 兵庫県より「ひょうご子育て応援賞」を受賞
- ・ 2013年8月  
 CIEC（コンピューター教育学会）の2012PCカンファレンスにおいて、当法人事務局長が優秀論文賞を受賞  
 受賞論文：学習コンテンツ表現方法の差違が学習者に与える好意性と思考スタイルの因果関係ーデジタルの特性を生かした適応的デジタル教科書を考えるー  
 吉田 賢史(早稲田大学高等学院)・篠田 有史(甲南大学情報教育研究センター)  
 松本 茂樹(甲南大学知能情報学部)・大脇 巧己(NPO 法人さんびいす)

(2013年9月現在)